

夏学期：高齢者の体と心：老いにつきあう レポート課題

高齢者のサクセスフルエイジングを考えると、高齢期の体と心に関する生活課題（例えば、健康、経済、対人関係、生活環境などにおける課題）の解決が重要となる。そこで夏学期のレポートは、講義内容を踏まえつつ、高齢期の生活課題を1つ取り上げ、その課題の要因と解決策について論じることとする。その際、実際に高齢者（親族も可）への聴き取りを行い、それをふまえた着想や起案であることが望ましい。なおレポートは、下記の5点にそって論述し、また下記形式を守って作成すること。

- (1) 焦点を当てた生活課題
- (2) その課題に焦点を当てた理由
- (3) 同課題を解決する上で、あなたが現在学んでいる学問領域あるいは将来希望する職業領域から（例：教育学部なら教育の観点から、弁護士を目指すならその立場から）どのような寄与ができると考えるか
- (4) 同課題について、上記の専門領域以外からはどのような寄与ができると考えるか
- (5) (3)や(4)を、学問や職業領域の縦割りではなく横断的・有機的に結びつけて、課題を解決するアイデア

※なお夏学期は表題のとおり「高齢者の体と心：老いにつきあう」である。年金制度や労働政策といった「高齢社会の社会システムと生活環境」は後期の授業テーマであり、本レポートは、高齢者本人のお話を伺うなど、具体的な高齢期の生活課題を中心に論ずることが望ましい。

- 提出方法（注意：下記条件を守らないレポートは大幅に減点する可能性があります。）
- レポート体裁：A4判にて4枚以内（厳守）、MS Wordで作成のこと
- レポート作成にあたり下記5点を厳守。
 - (1) 表紙は付けない。
 - (2) レポートの出だしはタイトル、学籍番号、氏名を明記する。
 - (3) 余白は上・下・左・右 20 mm～30 mmにおさめること
 - (4) 文字は10ポイント以上（ただし図表等については文字が判読可能であれば良い）
 - (5) 引用する場合は必ず出典を明記すること。
- 提出先 E メールアドレス：edu@iog.u-tokyo.ac.jp
- ※ 提出メールの件名は、【学籍番号(半角)+氏名（例：99-999999 東大太郎）】としてください。
- ※ 受信後遅くとも 72 時間以内には受信確認のお返事をします（夏季休業中を除く）。万が一確認のメールが届かない場合には、下記まで問い合わせてください。
- 提出期限：**8月17日（日）23:59**

■ 問い合わせ先

高齢社会総合研究機構 教育プログラム担当：後藤、西川、山地
TEL: 03-5841-1661、MAIL: edu@iog.u-tokyo.ac.jp